

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

滝沢市内の保育所（有症者：園児 18 名、職員 3 名）

- (1) 3月31日（水）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、3月27日（土）から4月1日（木）にかけて、園児18名、職員3名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児(クラス別)							職員					計	
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳		計
男	5	3	0	1	0	0	9	1	1	0	0	0	2	11
女	1	1	0	3	1	3	9	0	0	1	0	0	1	10
計	6	4	0	4	1	3	18	1	1	1	0	0	3	21

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年4月5日	1	0	0	1
令和2年4月1日～ 令和2年4月5日	0 (28)	0 (0)	0 (5)	0 (33)
平成31年4月1日～ 平成31年4月5日	1 (85)	0 (14)	0 (16)	1 (115)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分にしながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐藤 内5417】

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

八幡平市内の認定こども園（園児 115 名、職員 21 名）

- (1) 4月2日（金）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、3月26日（金）から4月5日（月）にかけて、園児23名、職員4名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児 0歳児	園児 1歳児	園児 2歳児	園児 3歳児	園児 4歳児	園児 5歳児	職員 20代	職員 30代	職員 40代	計
男	1	4	2	4	1	0	0	0	0	12
女	0	5	3	1	1	1	1	2	1	15
計	1	9	5	5	2	1	1	2	1	27

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年4月8日	2	0	0	2
令和2年4月1日～ 令和2年4月8日	0 (28)	0 (0)	0 (5)	0 (33)
平成31年4月1日～ 平成31年4月8日	1 (85)	0 (14)	0 (16)	1 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐藤 内 5417】

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

一関市内の認定こども園（園児 77 名、職員 24 名）

- (1) 4月8日（木）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の当該園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、4月1日（木）から4月12日（月）にかけて、園児10名、職員2名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 園児2名が入院したが、既に全員退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位：人)

区 分	園児(クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	0	0	3	3	0	0	0	6
女	0	1 (1)	2	1 (1)	0	0	2	6 (2)
計	0	1 (1)	5	4 (1)	0	0	2	12 (2)

( ) 内は入院患者再掲

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年4月12日	3	0	0	3
令和2年4月1日～ 令和2年4月12日	0 (28)	0 (0)	0 (5)	0 (33)
平成31年4月1日～ 平成31年4月12日	4 (85)	1 (14)	0 (16)	5 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐藤 内5417】

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

一関市内の認定こども園（園児43名、職員11名）

- (1) 4月5日（月）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の当該園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から12日（月）にかけて一関保健所が調査を実施し、3月30日（火）から4月7日（水）にかけて、園児9名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 園児1名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児(クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	0	0	3	0	2	1	0	6
女	0	1 (1)	1	0	0	1	1	4 (1)
計	0	1 (1)	4	0	2	2	1	10 (1)

( ) 内は入院患者再掲

#### 2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年4月13日	4	0	0	4
令和2年4月1日～ 令和2年4月13日	0 (28)	0 (0)	0 (5)	0 (33)
平成31年4月1日～ 平成31年4月13日	4 (85)	1 (14)	0 (16)	5 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐藤 内5417】

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

一関市内の認定こども園（園児 193 名、職員 38 名）

- (1) 4月12日（月）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の当該園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 13日（火）から15日（木）に一関保健所が調査を実施し、4月6日（火）から4月15日（木）にかけて、園児23名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区 分	園児(クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	1	5	0	3	3	2	0	14
女	0	4	1	1	0	3	0	9
計	1	9	1	4	3	5	0	23

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年4月15日	5	0	0	5
令和2年4月1日～ 令和2年4月15日	0 (28)	0 (0)	0 (5)	0 (33)
平成31年4月1日～ 平成31年4月15日	4 (85)	1 (14)	0 (16)	5 (115)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分にしながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐藤 内 5417】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 発症状況等について

紫波町内の教育・保育施設（園児 21 名、職員 13 名）

- (1) 4月14日（水）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、4月7日（水）から4月16日（金）にかけて、園児9名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児 0歳児	園児 1歳児	園児 2歳児	職員 20代	職員 30代	職員 40代	計
男	0	2	2	0	0	0	4
女	0	2	3	0	1	0	6
計	0	4	5	0	1	0	10

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年4月16日	6	0	0	6
令和2年4月1日～ 令和2年4月16日	0 (28)	0 (0)	0 (5)	0 (33)
平成31年4月1日～ 平成31年4月16日	5 (85)	1 (14)	0 (16)	6 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐藤 内5417】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 発症状況等について

奥州市内の保育所（園児 112 名、職員 31 名）

- (1) 4月21日（水）に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の当該園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、4月8日（木）から4月26日（月）にかけて、園児45名、職員3名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	職員	計
男	3	5	4	3	4	6	0	25
女	0	5	9	1	3	2	3	23
計	3	10	13	4	7	8	3	48

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年4月28日	7	0	0	7
令和2年4月1日～ 令和2年4月28日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)
平成31年4月1日～ 平成31年4月28日	8 (85)	7 (14)	1 (16)	16 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐藤 019-629-6091】

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

久慈保健所管内の教育・保育施設（園児 47 名、職員 22 名）

- (1) 5月12日（水）に、当該施設から久慈保健所へ、複数名の当該園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、久慈保健所が調査を開始し、5月7日（金）から5月15日（土）にかけて、園児12名、職員3名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 園児1名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	1	4 (1)	3	0	1	0	0	9 (1)
女	0	1	0	1	0	1	3	6
計	1	5 (1)	3	1	1	1	3	15 (1)

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 久慈保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 久慈保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年5月17日	8	0	0	8
令和2年4月1日～ 令和2年5月17日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)
平成31年4月1日～ 平成31年5月17日	14 (85)	7 (14)	1 (16)	22 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

担当 感染症担当 三浦・佐藤 019-629-6091】



## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 発症状況等について

二戸市内の認定こども園（園児 159 名、職員 44 名）

- (1) 6月1日（火）に、市役所担当課から二戸保健所へ、複数名の当該園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、二戸保健所が調査を開始し、5月21日（金）から6月1日（火）にかけて、園児30名、職員2名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位：人)

区 分	園 児			職 員	計
	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児		
男	4	3	13	0	20
女	0	0	10	2	12
計	4	3	23	2	32

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 二戸保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 二戸保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年6月4日	9	0	0	9
令和2年4月1日～ 令和2年6月4日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)
平成31年4月1日～ 平成31年6月4日	27 (85)	11 (14)	1 (16)	39 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 発症状況等について

二戸市内の小学校（児童 294 名、職員 31 名）

- (1) 5月31日（月）に、市教育委員会から二戸保健所へ、複数名の当該児童が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、二戸保健所が調査を開始し、5月25日（火）から6月2日（水）にかけて、児童57名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区 分	児 童						職 員	計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
男	0	10	7	2	11	3	1	34
女	0	9	7	3	4	1	0	24
計	0	19	14	5	15	4	1	58

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 二戸保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 二戸保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年6月4日	10	0	0	10
令和2年4月1日～ 令和2年6月4日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)
平成31年4月1日～ 平成31年6月4日	27 (85)	11 (14)	1 (16)	39 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

令和3年6月10日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

#### 1 発症状況等について

滝沢市内の教育・保育施設(園児 39名、職員 16名)

- (1) 6月8日(火)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、5月24日(月)から6月7日(月)にかけて、園児17名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児 0歳児	園児 1歳児	園児 2歳児	職員 20代	計
男	3	2	5	-	10
女	1	4	2	1	8
計	4	6	7	1	18

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年6月10日	11	0	0	11
令和2年4月1日～ 令和2年6月10日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)
平成31年4月1日～ 平成31年6月10日	33 (85)	12 (14)	2 (16)	47 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和3年7月13日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

#### 1 発症状況等について

一関市内の保育所(園児 133 名、職員 45 名)

- (1) 7月7日(水)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の当該園児及び職員が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、6月19日(土)から7月12日(月)にかけて、園児45名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児(クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	3	13	3	2	2	4	0	27
女	2	4	5	2	2	3	1	19
計	5	17	8	4	4	7	1	46

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からサポウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年7月12日	11	0	1	12
令和2年4月1日～ 令和2年7月12日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)
平成31年4月1日～ 令和元年7月12日	47 (85)	14 (14)	3 (16)	64 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

奥州市内の保育所(園児 104 名、職員 36 名)

- (1) 7月14日(水)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の当該園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、7月3日(土)から7月16日(金)にかけて、園児18名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 園児1名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	職員	計
男	1	-	-	3	-	1	-	-	5
女	3(1)	2	1	1	1	3	2	-	13(1)
計	4(1)	2	1	4	1	4	2	-	18(1)

( ) 内は入院患者再掲

#### 2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年7月 16 日	12	0	1	13
令和2年4月1日～ 令和2年7月 16 日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)
平成 31 年4月1日～ 令和元年7月 16 日	47 (85)	14 (14)	3 (16)	64 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・菊池 019-629-6091】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

## 記

## 1 発症状況等について

雫石町内の保育所(園児 93 名、職員 26 名)

- (1) 8月10日(火)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が指導・調査を開始し、8月5日(木)から8月18日(水)にかけて、園児10名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	計	
男	2	4	1	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	7
女	0	2	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
計	2	6	2	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	10

## 2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者10名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年8月24日	13	0	1	14
令和2年4月1日～ 令和2年8月24日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)
平成31年4月1日～ 令和元年8月24日	51 (85)	14 (14)	3 (16)	68 (115)

## ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和3年 10 月 27 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

奥州市内の教育・保育施設(園児 98 名、職員 30 名)

- (1) 10月25日(月)に、当該施設から奥州保健所へ、園児16名、職員1名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、10月23日(土)から10月26日(火)にかけて、園児19名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 園児1名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	職員	計
男	0	4	0	1	2	0	0	7
女	2	3	4	1(1)	1	1	1	13(1)
計	2	7	4	2(1)	3	1	1	20(1)

( )内は入院患者再掲

#### 2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者11名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年 10 月 27 日	14	0	1	15
令和2年4月1日～ 令和2年 10 月 27 日	4 (28)	0 (0)	2 (5)	6 (33)
平成 31 年4月1日～ 令和元年 10 月 27 日	51 (85)	14 (14)	6 (16)	71 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和3年 11 月 16 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

##### 1 発症状況等について

一関市内の認定こども園(園児 150 名、職員 38 名)

- (1) 11月13日(土)に、当該施設から一関保健所へ、園児の複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、11月5日(金)から11月15日(月)にかけて、園児23名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 園児1名が入院したが、退院に向けて調整中であり、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児(クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	0	2	0	3	2	1	0	8
女	5	5(1)	1	1	1	2	0	15(1)
計	5	7(1)	1	4	3	3	0	23(1)

( )内は入院患者再掲

##### 2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年11月16日	15	0	1	16
令和2年4月1日～ 令和2年11月16日	4 (28)	0 (0)	3 (5)	7 (33)
平成31年4月1日～ 令和元年11月16日	51 (85)	14 (14)	9 (16)	74 (115)

##### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】



令和3年 11 月 17 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

##### 1 発症状況等について

八幡平市内の認定こども園(園児 102 名、職員 20 名)

- (1) 11月15日(月)に、当該施設から県央保健所へ、園児の複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、11月12日(金)から11月16日(火)にかけて、園児9名、職員2名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児 0 歳児	園児 1 歳児	園児 2 歳児	園児 3 歳児	園児 4 歳児	園児 5 歳児	職員 20 代	職員 30 代	職員 40 代	計
男	0	4	0	1	1	0	0	0	0	6
女	0	2	0	1	0	0	0	2	0	5
計	0	6	0	2	1	0	0	2	0	11

##### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年 11 月 17 日	16	0	1	17
令和2年4月1日～ 令和2年 11 月 17 日	4 (28)	0 (0)	3 (5)	7 (33)
平成 31 年4月1日～ 令和元年 11 月 17 日	51 (85)	14 (14)	9 (16)	74 (115)

##### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和3年 12 月 2 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 奥州市内の認定こども園

##### (1) 施設の概要について

園児 91 名、職員 37 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 11月29日(月)に、当該施設から奥州保健所へ、園児の複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、11月26日(金)から11月30日(火)にかけて、園児11名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 園児2名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

##### 【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	職員	計
男	0	1	3(1)	1	0	0	0	5(1)
女	0	3	0	1	0	2(1)	0	6(1)
計	0	4	3(1)	2	0	2(1)	0	11(2)

( )内は入院患者再掲

##### (3) 調査結果について

ア 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 2 一関市内の保育園

##### (1) 施設の概要について

園児 75 名、職員 21 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 11月29日(月)に、当該施設から一関保健所へ、園児の複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、11月25日(木)から11月30日(火)にかけて、園児17名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向。

##### 【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	職員	計
男	5	1	1	2	1	0	0	10
女	4	1	0	0	2	0	0	7
計	9	2	1	2	3	0	0	17

##### (3) 調査結果について

ア 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。

- イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。  
 ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年12月2日	19	0	1	20
令和2年4月1日～ 令和2年12月2日	5 (28)	0 (0)	3 (5)	8 (33)
平成31年4月1日～ 令和元年12月2日	52 (85)	14 (14)	10 (16)	76 (115)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和3年 12 月 7 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

##### 1 発症状況等について

一関市内の認定こども園(園児 97 名、職員 27 名)

- (1) 12月2日(木)に、当該施設から一関保健所へ、園児の複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、11月17日(水)から12月6日(月)にかけて、園児31名、職員2名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児 0歳児	園児 1歳児	園児 2歳児	園児 3歳児	園児 4歳児	園児 5歳児	職員	計
男	3	5	4(1)	0	2	1	0	15(1)
女	2	7	3	1	3	0	2	18
計	5	12	7(1)	1	5	1	2	33(1)

( )内は入院患者再掲

##### 2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年 12 月 7 日	20	0	1	21
令和2年4月1日～ 令和2年 12 月 7 日	7 (28)	0 (0)	3 (5)	10 (33)
平成 31 年4月1日～ 令和元年 12 月 7 日	53 (85)	14 (14)	12 (16)	79 (115)

##### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和3年 12月9日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

奥州保健所管内の保育園(園児 124名、職員 33名)

- (1) 12月6日(月)に、当該施設から奥州保健所へ、園児47名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、11月30日(火)から12月8日(水)にかけて、園児54名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 園児2名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	職員	計
男	7	7	4	4	4 (1)	2 (1)	0	28 (2)
女	4	5	5	7	3	2	1	27
計	11	12	9	11	7 (1)	4 (1)	1	55 (2)

( )内は入院患者再掲

#### 2 調査結果について

- (1) 岩手県環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年12月9日	21	0	1	22
令和2年4月1日～ 令和2年12月9日	7 (28)	0 (0)	3 (5)	10 (33)
平成31年4月1日～ 令和元年12月9日	54 (85)	14 (14)	12 (16)	80 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和3年 12 月 16 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 奥州市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 114 名、職員 34 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 12月12日(日)に、当該施設から奥州保健所へ、園児の複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 12月13日(月)から、奥州保健所が調査を開始し、11月29日(月)から12月14日(火)にかけて、園児36名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 園児1名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人) ( )内は入院患者再掲

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	職員	計
男	4	7(1)	3	2	2	2	0	20(1)
女	1	8	3	2	1	1	1	17
計	5	15(1)	6	4	3	3	1	37(1)

医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者10名からノロウイルスを検出。

#### 2 奥州市内の認定こども園

##### (1) 施設の概要について

園児 123 名、職員 34 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 12月13日(月)に、当該施設から奥州保健所へ、園児の複数名及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、12月6日(月)から12月14日(火)にかけて、園児23名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 園児1名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人) ( )内は入院患者再掲

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	職員	計
男	6	2	0	3	1	0	0	12
女	4(1)	4	2	1	0	0	1	12(1)
計	10(1)	6	2	4	1	0	1	24(1)

医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

#### 3 奥州市内の認定こども園

##### (1) 施設の概要について

園児 134 名、職員 37 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 12月13日(月)に、当該施設から奥州保健所へ、園児の複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、11月27日(土)から12月14日(火)にかけて、園児30名に嘔吐、

下痢等の症状があったことを確認。

ウ 園児4名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人) ( )内は入院患者再掲

区 分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	職員	計
男	2(1)	1	4	3	3	3	0	16(1)
女	1(1)	2	0	2	5(2)	4	0	14(3)
計	3(2)	3	4	5	8(2)	7	0	30(4)

医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。

#### 4 一関市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 39 名、職員 12 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 12月13日(月)に、当該施設から一関保健所へ、園児の複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、11月19日(金)から12月15日(水)にかけて、園児15名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児(クラス別)				職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	幼稚園組		
男	3	3	2	3	0	11
女	1	2	0	1	0	4
計	4	5	2	4	0	15

医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

#### 5 一関市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 137 名、職員 45 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 12月13日(月)に、当該施設から一関保健所へ、園児の複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、11月22日(月)から12月15日(水)にかけて、園児29名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 園児2名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児(クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	2	10(1)	4	2	0	0	0	18(1)
女	1	4	3	2(1)	0	1	0	11(1)
計	3	14(1)	7	4(1)	0	1	0	29(2)

医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。

#### 6 一関市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 69 名、職員 20 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 12月14日(火)に、当該施設から一関保健所へ、園児及び職員の複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈

している旨の連絡あり。

イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、12月8日(水)から12月15日(水)にかけて、園児17名、職員3名に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。

ウ 園児1名が入院中だが、他の有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児(クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	2	3	2	2	1	0	0	10
女	0	2	1	1	2(1)	1	3	10(1)
計	2	5	3	3	3(1)	1	3	20(1)

環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者1名からノロウイルスを検出。

#### 7 各施設の調査結果について

ア 各所管保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

イ 各所管保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年12月16日	27	0	1	28
令和2年4月1日～ 令和2年12月16日	7 (28)	0 (0)	3 (5)	10 (33)
平成31年4月1日～ 令和元年12月16日	55 (85)	14 (14)	12 (16)	81 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】



令和3年 12 月 22 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

中部保健所管内の保育所(園児 12 名、職員 11 名)

- (1) 12月17日(金)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、12月13日(月)から12月21日(火)にかけて、園児10名に嘔吐、下痢等の症状、職員1名に発熱、吐気等の症状があったことを確認。
- (3) 園児1名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児 (クラス別)			職員	計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	50 代	
男	3 (1)	1	3	0	7 (1)
女	1	2	0	1	4
計	4 (1)	3	3	1	11 (1)

( )内は入院患者再掲

#### 2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者1名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分 (公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年 12 月 22 日	28	0	1	29
令和2年4月1日～ 令和2年 12 月 22 日	7 (28)	0 (0)	4 (5)	11 (33)
平成 31 年4月1日～ 令和元年 12 月 22 日	55 (85)	14 (14)	12 (16)	81 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和3年 12 月 24 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

##### 1 発症状況等について

奥州保健所管内の認定こども園(園児 109 名、職員 28 名)

- (1) 12月22日(水)に、当該施設から奥州保健所へ、園児17名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、12月10日(金)から12月23日(木)にかけて、園児20名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	職員	計
男	4	5	5	0	0	1	0	15
女	2	0	2	0	1	0	0	5
計	6	5	7	0	1	1	0	20

##### 2 調査結果について

- (1) 岩手県環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和3年 12 月 24 日	29	0	1	30
令和2年4月1日～ 令和2年 12 月 24 日	7 (28)	0 (0)	4 (5)	11 (33)
平成 31 年4月1日～ 令和元年 12 月 24 日	55 (85)	14 (14)	13 (16)	82 (115)

##### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年1月 14 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

陸前高田市内の保育所(園児 51 名、職員 16 名)

- (1) 1月11日(火)に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、1月5日(水)から1月12日(水)にかけて、園児10名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	計
男	1	4	1	2	0	0	8
女	0	1	0	1	0	0	2
計	1	5	1	3	0	0	10

#### 2 調査結果について

- (1) 岩手県環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 大船渡保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年1月 14 日	31	0	1	32
令和2年4月1日～ 令和3年1月 14 日	7 (28)	0 (0)	4 (5)	11 (33)
平成 31 年4月1日～ 令和2年1月 14 日	55 (85)	14 (14)	14 (16)	83 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年1月17日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

中部保健所管内の保育所(園児 44 名、職員 18 名)

- (1) 1月11日(火)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、12月31日(金)から1月14日(金)にかけて、園児13名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)				計
	0,1歳児	2歳児	3歳児	4,5歳	
男	3	1	2	1	7
女	2	2	0	2	6
計	5	3	2	3	13

#### 2 調査結果について

- (1) 岩手県環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年1月17日	32	0	1	33
令和2年4月1日～ 令和3年1月17日	7 (28)	0 (0)	4 (5)	11 (33)
平成31年4月1日～ 令和2年1月17日	59 (85)	14 (14)	15 (16)	88 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年1月 25 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 北上市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 143 名、職員 40 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 1月15日(土)に、当該施設から中部保健所へ、園児の複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、1月11日(火)から1月19日(水)にかけて、園児13名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向。

##### 【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児 (クラス別)					職員	計
	0,1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20代	
男	4	0	0	0	1	0	5
女	6	0	0	1	1	1	9
計	10	0	0	1	2	1	14

##### (3) 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 2 奥州市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 38 名、職員 15 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 1月19日(水)に、当該施設から奥州保健所へ、園児の複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、1月17日(月)から1月20日(木)にかけて、園児10名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向。

##### 【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	職員	計
男	2	1	0	1	0	0	0	4
女	4	1	0	0	1	0	0	6
計	6	2	0	1	1	0	0	10

##### (3) 調査結果について

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年1月25日	34	0	1	35
令和2年4月1日～ 令和3年1月25日	11 (28)	0 (0)	4 (5)	15 (33)
平成31年4月1日～ 令和2年1月25日	67 (85)	14 (14)	16 (16)	97 (115)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。</li> <li>② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。</li> <li>③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。</li> <li>④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。</li> </ul> |
|---|

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年2月2日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

矢巾町内の保育所(園児 118 名、職員 27 名)

- (1) 1月28日(金)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児、職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月17日(月)から1月28日(金)にかけて、園児26名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	園児 0歳児	園児 1歳児	園児 2歳児	園児 3歳児	園児 4歳児	園児 5歳児	職員 20歳代	職員 30歳代	職員 40歳代	計
男	2	5	0	1	3	0	0	0	0	11
女	2	4	1	2	6	0	0	0	1	16
計	4	9	1	3	9	0	0	0	1	27

#### 2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年2月2日	36	0	1	37
令和2年4月1日～ 令和3年2月2日	14 (28)	0 (0)	4 (5)	18 (33)
平成31年4月1日～ 令和2年2月2日	74 (85)	14 (14)	16 (16)	104 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年2月4日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 滝沢市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 142 名、職員 37 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 2月1日(火)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月26日(水)から2月1日(火)にかけて、園児17名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向。

##### 【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児(クラス別)						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	3	2	0	0	0	0	5
女	6	1	4	0	1	0	12
計	9	3	4	0	1	0	17

##### (3) 調査結果について

ア 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 2 山田町内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 77 名、職員 19 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 2月3日(木)に、当該施設から宮古保健所へ、園児及び職員の複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、1月23日(日)から2月3日(木)にかけて、園児22名、職員1名に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向。

##### 【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	0～1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	20代 職員	合計
男	7	2	1	0	0	0	10
女	8	2	0	1	1	1	13
計	15	4	1	1	1	1	23

##### (3) 調査結果について

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。

イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。



【県内の発生状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分 (公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年2月4日	38	0	1	39
令和2年4月1日～ 令和3年2月4日	14 (28)	0 (0)	4 (5)	18 (33)
平成31年4月1日～ 令和2年2月4日	75 (85)	14 (14)	16 (16)	105 (115)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。</li> <li>② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。</li> <li>③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。</li> <li>④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。</li> </ul> |
|---|

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年2月7日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 滝沢市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 113 名、職員 24 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 2月1日(火)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 翌日から、県央保健所が調査を開始し、1月27日(木)から2月2日(水)にかけて、園児17名、職員2名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 園児1名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

##### 【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	20代 職員	計
男	6 (1)	5	0	0	1	0	1	13(1)
女	2	3	0	0	0	0	1	6
計	8 (1)	8	0	0	1	0	2	19(1)

( )内は入院患者再掲

##### (3) 調査結果について

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者1名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 2 宮古保健所管内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 41 名、職員 11 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 2月3日(木)に、当該施設から宮古保健所へ、園児複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、2月1日(火)から2月7日(月)にかけて、園児10名に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向。

##### 【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	0～1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	計
男	4	1	0	1	0	6
女	3	0	0	0	1	4
計	7	1	0	1	1	10

##### (3) 調査結果について

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年2月7日	40	0	1	41
令和2年4月1日～ 令和3年2月7日	14 (28)	0 (0)	4 (5)	18 (33)
平成31年4月1日～ 令和2年2月7日	79 (85)	14 (14)	16 (16)	109 (115)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年2月9日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

##### 1 発症状況等について

奥州市内の保育所(園児 131 名、職員 48 名)

- (1) 2月8日(火)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、2月4日(金)から2月8日(火)にかけて、園児12名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 園児1名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	園 児						職 員	計
	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳		
男	0	4	0	3(1)	0	0	0	7(1)
女	0	3	1	0	1	0	0	5
計	0	7	1	3	1	0	0	12

( )内は、入院患者再掲

##### 2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年2月9日	41	0	1	42
令和2年4月1日～ 令和3年2月9日	15 (28)	0 (0)	4 (5)	19 (33)
平成31年4月1日～ 令和2年2月9日	79 (85)	14 (14)	16 (16)	109 (115)

##### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年2月 14 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

県央保健所管内の保育所(園児 132 名、職員 36 名)

- (1) 2月3日(木)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 翌日から、県央保健所が調査を開始し、1月25日(火)から2月3日(木)にかけて、園児10名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	園児						職員	計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	20歳代	
男	5	1	1	0	0	0	0	7
女	1	0	1	1	0	0	1	4
計	6	1	2	1	0	0	1	11

#### 2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者1名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年2月14日	42	0	1	43
令和2年4月1日～ 令和3年2月14日	15 (28)	0 (0)	4 (5)	19 (33)
平成31年4月1日～ 令和2年2月14日	81 (85)	14 (14)	16 (16)	111 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年2月 16 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びアストロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

#### 1 発症状況等について

陸前高田市内の保育所(園児 117 名、職員 26 名)

- (1) 2月9日(水)に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、2月2日(水)から2月13日(日)にかけて、園児13名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児 0歳児	園児 1歳児	園児 2歳児	園児 3歳児	園児 4歳児	園児 5歳児	園児 6歳児	計
男	0	0	1	1	0	1	1	4
女	0	0	3	4	1	0	1	9
計	0	0	4	5	1	1	2	13

#### 2 調査結果について

- (1) 医療機関及び岩手県環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルス及びアストロウイルスを検出。
- (2) 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 大船渡保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年2月 16 日	42	0	2	44
令和2年4月1日～ 令和3年2月 16 日	15 (28)	0 (0)	4 (5)	19 (33)
平成 31 年4月1日～ 令和2年2月 16 日	81 (85)	14 (14)	16 (16)	111 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年2月 18 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

奥州市内の保育所(園児 59 名、職員 21 名)

- (1) 2月14日(月)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、2月9日(水)から2月16日(水)にかけて、園児12名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 園児1名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	職員	計
男	2	2	2	1	0	0	0	7
女	1	2	2 (1)	0	0	0	0	5 (1)
計	3	4	4 (1)	1	0	0	0	12 (1)

( )内は、入院患者再掲

#### 2 調査結果について

- (1) 医療機関及び岩手県環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年2月 18 日	43	0	2	45
令和2年4月1日～ 令和3年2月 18 日	16 (28)	0 (0)	4 (5)	20 (33)
平成 31 年4月1日～ 令和2年2月 18 日	81 (85)	14 (14)	16 (16)	111 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 県央保健所管内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 50 名、職員 22 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 2月21日(月)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 翌日から、県央保健所が調査を開始し、2月10日(木)から2月21日(月)にかけて、園児17名、職員3名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向。

##### 【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児(クラス別)						職員			計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	30代	40代	50代	
男	3	0	3	0	0	0	0	0	0	6
女	4	5	1	0	0	1	1	1	1	14
計	7	5	4	0	0	1	1	1	1	20

##### (3) 調査結果について

ア 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 2 奥州市内の認定こども園

##### (1) 施設の概要について

園児 161 名、職員 39 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 2月21日(月)に、当該施設から奥州保健所へ、園児複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、2月18日(金)から2月21日(月)にかけて、園児22名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向。

##### 【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	0歳児・1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	職員	計
男	5	2	3	1	0	0	11
女	3	3	3	0	2	1	12
計	8	5	6	1	2	1	23

##### (3) 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。



ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年2月 28 日	45	0	2	47
令和2年4月1日～ 令和3年2月 28 日	17 (28)	0 (0)	5 (5)	22 (33)
平成 31 年4月1日～ 令和2年2月 28 日	83 (85)	14 (14)	16 (16)	113 (115)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。</li><li>② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。</li><li>③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。</li><li>④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。</li></ul> |
|--|

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年3月1日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

##### 1 発症状況等について

釜石保健所管内の認定こども園(園児 83 名、職員 23 名)

- (1) 2月28日(月)に、当該施設から釜石保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、釜石保健所が調査を開始し、2月20日(日)から2月28日(月)にかけて、園児20名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 園児1名が入院したが、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男	2	5 (1)	2	2	1	0	12 (1)
女	3	2	1	0	1	1	8
計	5	7 (1)	3	2	2	1	20 (1)

( )内は、入院患者再掲

##### 2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 釜石保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 釜石保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年3月1日	46	0	2	48
令和2年4月1日～ 令和3年3月1日	17 (28)	0 (0)	5 (5)	22 (33)
平成31年4月1日～ 令和2年3月1日	83 (85)	14 (14)	16 (16)	113 (115)

##### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年3月2日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

宮古市内の保育所(園児 56 名、職員 14 名)

- (1) 2月28日(月)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、2月24日(木)から2月28日(月)にかけて、園児16名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	0～1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	職員	合計
男	5	3	2	0	3	0	13
女	3	0	0	0	0	1	4
計	8	3	2	0	3	1	17

#### 2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年3月2日	47	0	2	49
令和2年4月1日～ 令和3年3月2日	17 (28)	0 (0)	5 (5)	22 (33)
平成31年4月1日～ 令和2年3月2日	84 (85)	14 (14)	16 (16)	114 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年3月4日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

宮古市内の保育所(園児 42 名、職員 13 名)

- (1) 3月2日(水)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、2月21日(月)から3月2日(水)にかけて、園児17名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

年齢	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	職員	合計
男	1	3	2	2	0	1	0	9
女	2	2	1	1	1	1	0	8
計	3	5	3	3	1	2	0	17

#### 2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年3月4日	49	0	2	51
令和2年4月1日～ 令和3年3月4日	18 (28)	0 (0)	5 (5)	23 (33)
平成31年4月1日～ 令和2年3月4日	84 (85)	14 (14)	16 (16)	114 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年3月8日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

##### 1 発症状況等について

奥州市内の認定こども園（園児 173 名、職員 45 名）

- (1) 3月3日(木)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、2月18日(金)から3月4日(金)にかけて、園児22名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位：人）

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	職員	計
男	2	2	6	1	1	2	0	13
女	1	1	2	2	1	1	0	9
計	3	3	8	3	2	3	0	22

##### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件）

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年3月8日	50	0	2	52
令和2年4月1日～ 令和3年3月8日	19 (28)	0 (0)	5 (5)	24 (33)
平成31年4月1日～ 令和2年3月8日	84 (85)	14 (14)	16 (16)	114 (115)

##### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年3月 18 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

北上市内の教育・保育施設(園児 13 名、職員9名)

- (1) 3月10日(木)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児・職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、3月6日(日)から3月10日(木)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)			職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	30代	40代	
男	5	0	0	0	0	5
女	1	0	1	3	1	6
計	6	0	1	3	1	11

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年3月18日	51	0	2	53
令和2年4月1日～ 令和3年3月18日	23 (28)	0 (0)	5 (5)	28 (33)
平成31年4月1日～ 令和2年3月18日	84 (85)	14 (14)	16 (16)	114 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年3月 28 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 発症状況等について

久慈保健所管内の介護保険事業所(利用者 68 名、職員 18 名)

- (1) 3月19日(土)に、当該施設から久慈保健所へ、複数名の利用者・職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、久慈保健所が調査を開始し、3月17日(木)から3月20日(日)にかけて、利用者10名、職員4名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	デイサービス利用者				職 員	計
	40 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代		
男	0	0	1	0	1	2
女	1	1	3	4	3	12
計	1	1	4	4	4	14

#### 2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 久慈保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 久慈保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年3月 28 日	52	0	2	54
令和2年4月1日～ 令和3年3月 28 日	26 (28)	0 (0)	5 (5)	31 (33)
平成 31 年4月1日～ 令和2年3月 28 日	85 (85)	14 (14)	16 (16)	115 (115)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルス及びノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

#### 記

#### 1 滝沢市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 53 名、職員 18 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 3月23日(水)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の利用者・職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、3月18日(金)から3月28日(月)にかけて、園児23名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児(クラス別)						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	5	3	1	4	1	0	14
女	4	1	2	1	1	0	9
計	9	4	3	5	2	0	23

##### (3) 調査結果について

ア 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からサポウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 2 北上市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 155 名、職員 34 名

##### (2) 有症者の状況等

ア 3月30日(水)に、当該施設から中部保健所へ、園児複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、3月21日(月)から3月30日(水)にかけて、園児20名に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。

ウ 入院中の園児1名を含め、いずれも回復傾向。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児(クラス別)						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	3	3	3	1	0	1	11
女	3(1)	2	4	0	0	0	9(1)
計	6(1)	5	7	1	0	1	20(1)

( )内は入院患者再掲

##### (3) 調査結果について

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者1名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。



ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	53	0	3	56
令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	28 (28)	0 (0)	5 (5)	33 (33)
平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	85 (85)	14 (14)	16 (16)	115 (115)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。</li><li>② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。</li><li>③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。</li><li>④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。</li></ul> |
|--|

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】